

## JABA スピードアップ規程に関するジェスチャーの統一

### 1. 12 秒・20 秒ルール

#### (1) 12 秒ルール

- 2 塁塁審は、12 秒ルールを適用するとき、タイムをかけた後、球審に向かって右手で左手首をたたく（腕時計をたたく）動作を数回繰り返し、12 秒が経過したことを伝える。
- これを受けた球審は、ポジションを離れず、投手に向かって、右手で左手首をたたく（腕時計をたたく）動作を数回繰り返し、左手人差し指を立てて、『ワンボール』を宣告する。
- その後、球審は、ポジションを離れず、公式記録員に向かって同じ動作を行い、『ワンボール』を伝える。

#### (2) 20 秒ルール

##### ① 警告（20 秒経過 1 回目）

- 2 塁塁審は、20 秒ルールの警告（1 回目）を適用するとき、タイムをかけた後、投手に向かって右手で左手首をたたく（腕時計をたたく）動作を数回繰り返し、投手と球審に向かって右手人差し指を立てて 1 回目の警告を与えたことを伝える。

##### ② ペナルティ（20 秒経過 2 回目）

- 2 塁塁審は、20 秒ルールのペナルティ（2 回目）を適用するとき、タイムをかけた後、右手で左手首をたたく（腕時計をたたく）動作を数回繰り返し、投手と球審に向かって右手の指で「2」の形を作り、2 回目の違反であることを伝える。
- これを受けた球審は、ポジションを離れず、投手に向かって右手で左手首をたたく（腕時計をたたく）動作を数回繰り返した後に、左手人差し指を立てて、『ワンボール』を宣告する。
- その後、球審は、ポジションを離れず、公式記録員に向かって同じ動作を行い、『ワンボール』を伝える。

### 2. バッターズボックスルール

- 球審は、バッターズボックスルールの警告を与えるとき、タイムをかけた後、打者に向かって両手で四角を描き、その後に右手人差し指を立てて、1 回目の警告を与えることを伝える。
  - 球審は、イニング間に、警告を与えた打者が 1 塁側チームの場合は 1 塁塁審と、

3 塁側チームの場合は3 塁塁審と、警告を与えた打者について確認する。)

- 球審は、ペナルティ（2 回目違反のストライク）を宣告するときは、タイムをかけた後、打者に向かって両手で四角を描き、その後に打者に向かってストライクのジェスチャーにより『ストライク』を宣告する。
- その後、球審は、公式記録員に向かって同じ動作を行い、『ストライク』を伝える。

以上